令和４年６月26日
文　京　愛　菊　会

菊花展出品を目指したダルマ・福助作りの実践講座（第１回）

本講習会は、今年で１４年目を迎えました。新型コロナウィルスも落ち着いてきており、マスク着用と消毒の感染症対策を行いつつ、秋まで５回実施していきます。

今年度の菊花展については、今のところ中止情報は入っていませんので、展示に向けて出品できるように頑張っていきましょう。

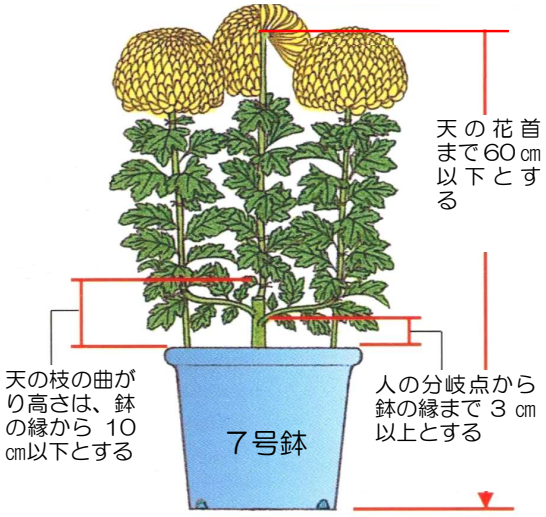
１　ダルマ作り

６月上旬に挿し芽を行い、７号鉢を用いて花首までの高さが６０ｃｍ以内になるように仕立てる作り方です。

３枝（天地人）の曲げが必要となります。

菊の高さを抑えるためには、成長を抑える Ｂ ナイン（ホームセンターで入手可能）が必要になります。

品種は、厚物では国華金山（黄）、国華越山（白）、管物では泉郷富水（黄）が、菊花展の８割を占めます。



２　作り方

（１）菊苗の準備

６月上旬に挿し芽をしますが、この時期の菊苗はホームセンターでは売っていないので、自分で苗を用意することになります。昨年の冬至芽を成長させて５月に摘芯した苗か、冬至芽を４月に挿し芽して５月摘芯したものを挿し芽として使います。

４月に挿し芽をした苗のほうが若々しく、挿し芽後の成長が早いといわれていますが、４月は気温が低いため、挿し芽の保温装置が必要になるので上級者向けです。

挿し芽の一週間前には、液肥を与えるのをやめます。挿し芽のときに肥料分がのこっていて芽先や茎が変色し、腐る可能性があるからです。

また、挿し芽の一週間前にＢナイン６００倍を霧吹きで全体に掛けておきます。

（２）挿し芽

挿し芽用土は、鹿沼土とクン炭の７：３が一般的です。この時期以降の用土にバーミキュライトを配合しないほうが良いです。バーミキュライトは保温効果と保水性があるため、暑い時期には、苗床が蒸れて苗が腐る可能性があります。

挿し穂の採取を夕方以降に行うと、芽先にデンプンの蓄積があるため、挿し穂には良いとされています。

水揚げは、活力剤（キング等）1000 倍液で１～2 時間程度浸して、苗がピンとすれば十分です。

挿し穂の長さは、芽の先から茎まで６㎝程度で、大きな葉 2～3 枚をつけて挿します。

付いている葉が大きいほどしおれやすいので挿し芽の管理が難しくなりますが、挿し芽が成功すると成長は早いです。発根剤はルートン（ホームセンターに売っている）か、

オキシベロン（園芸専門店で売っている）を使い、との粉（ホームセンターに売っている）を水で溶いて団子刺しにすると、との粉が茎の切口に密着して水の吸い上げが良く、しおれにくくなります。

挿し芽後の管理は、７日間ほど日陰（遮光率５０％黒ネットの２枚重ね）に置き、７日目から１枚重ねに変え、１０日目くらいから朝１時間ほど日光にあてていき、徐々に日光に慣らしていきます。

参考書には、極力明るい所で管理するのが発根を早めるコツと言われていますが、最初の数日間で日光に当てすぎてしおれさせてしまうと、その後の苗の復活は絶望的ですので、日陰で管理したほうが良いです。

８日目ごろから挿し芽用土の表面が乾いてきますが、しおれが夕方には回復したり極端に乾燥しない限りは水を与えなくても大丈夫です。

挿し芽用土を掘って用土に水分がないと思ったら、挿し芽箱底から流れない程度の適当な量の水を表土にかけて濡らしてあげます。

（３）鉢上げ

上手な管理だと 14 日位で発根して鉢上げできますので、５号鉢に直接鉢上げするか、3.5 号鉢にポット上げします。

コツとしては、鉢上げ前の昼間に挿し芽箱にたっぷりと灌水して、挿し芽に水分を吸収させピンとさせてから夕方に鉢上げします。水を吸わせることで鉢上げ直後のしおれと、芽先の変色を防ぐことができます。

培養土は菊専用の土であれば、配合は特にこだわらなくても良いと思います。用土は親指で軽く締め固める程度で十分です。かたく締めすぎると排水が悪くなるばかりではなく、乾くと水も浸透しなくなり根が入っていけません。

鉢上げ３日間はしおれやすいので日陰で管理し、４日目から直射日光に当てます。

（４）摘芯

天・地・人の３枝に分岐させるためには、苗の芽先を摘芯する必要があります。

目安としては、鉢上げ後１０日ほど経ち、苗に活力がでてきて新芽が動き始めたときに行いますが、地面と分岐の位置の長さには規定がありますので、苗の目先が約８㎝を超えたときに行います。

摘芯の動画

また、３枝の分岐間隔を２㎝以内にするために、摘芯した直後に、ビーナインの６００倍を芽先に散布します。このビーナインが濃すぎると新芽の展開が遅くなり成長が止まってしまいますので注意してください。

摘芯後に出てきた３枝の新芽

（5）ダルマづくりで用意するもの

ダルマ作りに必要な資材です。ホームセンターで売っています。

① Bナイン　菊の背丈を抑えるため、必ず必要です。

② 乾燥肥料　菊用であれば良いが、普通の肥料でもかまいません。

③ 液体肥料　菊用であれば良いが、普通の肥料でもかまいません。

④ 活力剤　　キングなどで良いが、無理して買う必要ありません。

（6）培養土について

培養土については、特にこだわりはありませんが、私の培養土の配合をお教えします。自分で作る場合の参考にしてください。

腐葉土	6	（市販の腐葉土でOKですが、無肥料のもの）
赤玉土（中粒）	3	（市販の赤玉土でOKですが、粉（微塵）を取っておく）
ゼオライト	1	（大きなホームセンターで売っている）
パーライト	0.5	（水はけを良くするために配合）
くん炭	0.5	（PH調整のために配合、入れすぎに注意）

数値は容積の割合です。たとえば、腐葉土6は5号鉢6杯分と考えてください。

（7）今回配布する苗

① 国華越山　　厚物　白色　中幹　中咲き

ダルマ・福助の品種としては、最適です。Bナインをかけることで花質も良くなる傾向にあります。残肥だと花弁がだらしなく伸びますから、秋にはしっかりと肥料を抜くと綺麗に咲きます。

② 国華金山　　厚物　黄色　中幹　中咲き

国華越山の花が黄色く変化した品種です。特性は越山と同じですが、花のまとまりは、金山の方が良い感じがします。

③ 泉郷五色　　太管　錦色　中幹　中咲き

多肥でも花があまり乱れなく、葉も大きく育つのでダルマ向きです。

3枝に分岐した茎が上方向に伸びるので、曲げが難しいです。

（８）今後の管理スケジュール（案）

栽培場の条件によってまちまちですがおおよそのスケジュールです。

６月２６日

本日提供の苗は、６月５日挿し芽、６月１９日に鉢上げしてあります。

６月２６～７月３日

根がポット下から見えたら５号鉢に植え替えましょう。
乾燥肥料を小スプーン３杯与える（以後２週間おき）
液肥 1000 倍（今後は週１回）
新芽の摘心　芽先が地表から８㎝の位置で芽先を摘芯してＢナイン 600 倍散布

７月 10 日　液肥 1000 倍

７月１７日　乾燥肥料の追肥（前の肥料を取り除いて、小スプーン３杯与える）
液肥１０００倍

７月２４日　第２回講習会です。
液肥１０００倍
３枝が伸びてきたものから誘引を始めていきます。
デジカメ、スマホで状況写真を撮ってきてください。講評します。

毎日、５号鉢を手で持って鉢の重さを確認し、水やりを判断しましょう。
根が張ってくるとすぐに乾くようになります。
毎日、鉢を 1/3 ずつ回して、葉にまんべんなく日光に当てましょう。
農薬消毒は、できれば週１回行いましょう。

文京愛菊会の公式ホームページを作りました。
まだ充実していませんが、連絡事項や活動写真等を増やしていきます。

嵯峨菊の育て方

嵯峨菊は、関西地方で育てられている古典菊で、都内で展示出品している菊花展はありません。

先々代の会長が１０年ほど前に当菊花展に導入してから今日に至ります。

７号鉢で、同一品種を３～４苗中央に植えて摘芯し、ほうき状に７花（１茎１花）で仕立てます。

仕立て方は当菊花会のオリジナルとなります。（たぶん）

高さの制限はありませんが、嵯峨地方では２ｍほど伸ばして鑑賞しますので、背が高いほうが上位となりますが、７花とのバランスを考えると８０～１３０㎝ほどが理想でしょう。

以前は９花の審査基準も提案したことがありますが、当会員には難しいだろうとのことだったので否決されましたが、そのうち皆さんの技術アップで９花もやりたいと考えています。

（１）培養土

嵯峨菊は、肥料与えすぎると茎葉が太くなって、本来の優雅が損なわれます。

肥料は、ほどんど必要としないので、菊用の土にさらに腐葉土を３割ほど混ぜて、土の肥料分を薄くして水はけを良くします。

５号鉢に植え付け、７月末に７号鉢に定植します。

支柱は仮設置とし、苗の真ん中に１本差しておきます。

（２）摘芯

ダルマと同じ時期に摘芯し、１苗につき３枝を何もせず上へと伸ばしていきます。

液肥は２週間に１回、乾燥肥料は２週間に１回小スプーン１杯で十分です。

鉢上げはダルマと同じで、７月下旬から８月上旬を予定しております。

（３）今回配布する苗

① 嵯峨の誇　　白色　短幹　早咲き

日光に当て過ぎるとガッチリと短幹に成長してしまいますので、半日陰で育てる。

肥料もほとんど必要としません。

② 嵯峨の華　　錦色　中幹　中咲き

ちょうどよい成長なので、育てやすいです。